



第9回「高石シーサイドフェスティバル2024」が6月2日に開催した。ステージイベントでは、FM大阪のDJ2名に司会進行いただき、様々なプログラムを実施いたしました。特にキッズダンスのコーナーでは、登壇することもたちは笑顔と元気に溢れ、それを見守る多くの保護者の方々に賑わいました。打上花火は、直前の雨の影響により、15分遅れでの開始となりましたが、無事に終わることが出来ました。今回も、たくさんの方々にご来場いただき、本市地域の方々に愛され、また、市外につきましても本市を知るきっかけとなるイベントとしての役割を担い、定着している。自走議論に関しては、民間事業者と連携し、打上花火の有料観覧席エリアを拡大し、席数を増大し、市の補助金に頼ること無く開催することを目標に取り組みを行った。



現地での「ゴミ問題」「トイレ問題」「場内放送」等を指摘しつつ、次年度以降も引き続き開催することを要望した。



もっと詳しく↓
松本よしひろ
ブログをチェック



その他の議題 松本よしひろブログはこちら↓

加茂幼稚園
について



いじめの取り組み
について



給食費の滞納と
残食について



放課後の
校庭開放について



CHECK!

松本善弘 市政報告会のご案内

・令和6年8月31日(土)10時～ 東羽衣公民館 1F集会室(東羽衣3-15-30)

ご参加いただける方は、会場や資料等の準備の為、可能であればQRコードもしくはメールにて氏名・連絡先等をご登録頂けたらありがたいです。連絡なしでの参加も歓迎。お気軽にご参加下さい。(登録締切:8月30日まで)

〒592-0003 大阪府高石市東羽衣 3-15 番 16 号
携帯 :090-9041-0540 / E-mail:0905myoshihiro@gmail.com



松本 よしひろ プロフィール

妻、2男1女の5人家族
高石中学 PTA 副会長、高石市第十区子供会会長、高石市第十区交友会会長、高石市子ども会育成協議会副会長、アブラたかいし商店街会長、アブラホール実行委員会委員、東羽衣小学校元気広場コーディネーター、高石商工会議所シニア会所属、元高石中学校・東羽衣小学校 PTA 会長、堺高石青年会議所 OB、高石商工会議青年部 OB

高石市から大阪、 日本の未来を考える!

すべての世代が支え合い、希望のあるまちへ

松本 よしひろ

高石市議会議員 松本善弘(無所属)です。
令和6年度第1回～第2回定例会の報告をさせていただきます。(3月～6月議会)

NEWS vol.45

01

新型コロナワクチン
後遺症救済制度

02

オーガニック
給食について



03

ネット依存
対策について



04

高石駅前広場の
にぎわいの創出について

05

羽衣駅前
ワークショップの議論

06

シーサイド
フェスティバル2024

高石市議会議員 松本善弘(無所属)です。
令和6年年度の当初予算を考えると、物価高騰や人件費等の増加などにより、高石市においても収支不足で約10億円を基金から取り崩した予算編成になり、予算執行の下振れで黒字化を考えるなど厳しい状況が続いています。しかし、厳しい状況下においても、未来への積極的な投資、防災の充実、公共施設の維持管理、地域担い手の確保など、果敢な投資も展開しています。

3月議会の主な予算案件

- ・地域コミュニティ再生事業補助金の創設
(地域コミュニティの活性化、地域活動の担い手確保)
- ・中学校給食の無償化を継続
(自主財源で実施)
- ・ボランティアポイントの付与
(コミカフェを中心に地域福祉活動の担い手が不足に対応)
- ・避難訓練をリニューアル
(避難訓練を休日に開催)

6月議会の主な予算案件

- ・南海中央線整備等工事費
(中央公民館から東羽衣地区の道路工事予算が2倍以上(約2.5億→6億になり工事が進む)
- ・新型コロナウイルスワクチン
接種健康被害支援金
(救済制度を申請する方の経済的負担の軽減)
- ・福祉バス実証実験運行業務委託料
(アンケートから「8月・9月の日曜日と
早朝運行」の実証実験)

01 新型コロナワクチン後遺症救済制度 (3月議会 予算委員会)

これまで、コロナウィルスワクチン接種後の副反応疑いの報告状況として

ワクチン接種後の死亡者: 2,076人

副反応(健康被害)の報告者: 36,457人

※第24回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会(2023年7月28日)「医療機関からの副反応疑い報告状況について」より

高石市の新型コロナワクチン接種後副反応相談件数が約30件
予防接種健康被害救済制度申立数が2件 (R6年2月9日現在)

新型コロナワクチン予防接種の副反応により健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、医療費や医療手当などが給付されるのだが、申請に要した診断書や診療録に関する文書等については支給対象とはなっていない現状を確認した。

(令和6年3月議会)
市独自の新型コロナワクチン健康被害支援金という制度を要望
松本

令和6年6月議会にて予算化。

制度について
もっと詳しく→
松本よしひろ
ブログをチェック



02 オーガニック給食について (3月議会 一般質問)

成長期の子どもの一食は、大人の一食とは違う。できるだけ身体に良いものは取り入れていくべきだと考える。食の安全性ということで、農薬や化学肥料を使用せずに栽培された食材を使用して、学校給食として児童生徒に安心して食べることができる食事環境を提供すること。また、泉州地域でも野菜や米を確保できるような地産地消の取り組みを行い、農家を守りながら安定的な食糧の確保、食の取り組みから健康施策につながるような取り組みを検討していただくことを要望した。



給食について
もっと詳しく→
松本よしひろ
ブログをチェック



03 インターネット・ゲーム依存について (3月議会 一般質問)

中高生では7人に1人がネット依存という2017年の厚生労働省の統計がある。本市も中学校では6%近い比率で不登校になっており、その一因としてネット依存・ゲーム依存もあると考えている。ネット依存・ゲーム依存というのは進行するほど対処が難しくなってくるというのが実際であり、教育委員会としては対策を問う。

本市独自の取組としましては、毎年小・中学校の代表の子どもたちが校内で意見を集約して持ち帰り、校種を超えて話し合うスマホサミットを開催している。令和5年度は「ネット依存について」子どもたちが話し合いを行いました。この中で交流した意見や助言者である大学教授等の話を踏まえて、各校において子どもたち自身がネット等に関する課題を考え、広める契機としている。

予防の
ポイントは
2つ

POINT
01

家庭内の使用
ルールをつくる。

POINT
02

デジタル端末の
制限機能の活用。

もっと詳しく→
松本よしひろ
ブログをチェック



今後とも、この問題に取り組んでまいります。

04 羽衣駅前ワークショップの議論 (6月議会 一般質問)

「羽衣駅前周辺整備基本計画策定業務」において、地域住民が参加するワークショップを計3回開催。

みんなで
意識を高く、より
住み良い町に♪

01 エリアの魅力と課題の再確認
02 やりたいこと、やってほしいこと
03 やりたい、やってほしいを実現するために必要なモノ・コト
04 羽衣駅前周辺エリアの未来のすがた



などを意見交換し、ご参加頂いている方々の気持ちが伝わる議論が活発に行われ、たくさんのご意見やご希望を頂き、まとめとして、7月6日に4回目のワークショップが開催された。



これまでのワークショップでの皆さんのご意見やご希望を十分に考慮しながら、

上質な
空間を整備

羽衣らしい
シーンの創出

羽衣ブランドの
構築と発信

などを感じさせる提案があり、今後様々な議論を続けながら、羽衣駅を市民協働で作りに上げていけたらと考えています。また、このようなワークショップが引き続き継続的に開催し、駅前が工事中又は完成した後も、その空間や街並みを市民の皆さんと継続して取り組んでいくことが重要だと考えています。

羽衣駅前、高石駅前について
もっと詳しく→
松本よしひろ
ブログをチェック



05 高石駅前広場のにぎわいの創出について (6月議会 一般質問)

本年3月に完成した高石駅前芝生広場。市は駅前のにぎわいを主張していたが、駅前をつくるのは→高石市土木部駅前周辺整備課。駅前を管理するのは→土木管理課。では、駅前に賑わいをもたらすのは・・・?と聞くと、はっきりしていなかった為、再度確認をした。

高石市

駅前広場の活性化については、積極的に取り組むべきであり、民間イベントの誘致や市主催の既存イベントや新規イベントを積極的に開催出来るよう、土木部が中心となり全庁一丸(土木部以外にも、教育部、総務部、保健福祉部、総合政策部も含め)、駅前の賑わいに向けた取り組みを行う。

松本

今の高石駅前広場は現状は道路になっており、賑わいをもたらすイベントを考えると、道路占有等難しいことが多々ある。今年度は全庁一丸となって駅前を盛り上げていくにしても、将来的には高架下や駅西側の開発が進む進捗を確認しながら、

駅前広場条例の制定や指定管理業者など
民間のノウハウを活かし、駅前広場のにぎわいの創出を提案。

